

ふらみんご通信

日本赤十字社長崎原爆病院
がん相談支援センター
(1階患者相談室)
Tel.095-847-1511内線1112

Vol.04
2018.06

がん患者と家族のふれあいサロン・ふらみんご

音と光と医療 近代医学の誕生



H30年2月26日相川忠臣医師による「音と光と医療、近代医学の誕生」についての講演がありました。聴診器や顕微鏡の発明により臓器別に診断ができるようになったのが近代医学の始まりになったお話し。今から200年程前のことです。出島から西洋の医学や文化が入ってきた様子がよくわかりました。シーボルトの外科治療と日本の外科治療の比較や西洋の医師が日本人に与える影響等、文化の違いからも衝撃があったようです。現在の日本の医療の始まりが長崎の地で発祥していたのが興味深い講演でした。

H30年3月19日は、「がんとは何か」について、当院病理診断科の重松先生にご講演頂きました。がんとは何か、病理とは何か。組織診断や細胞診断のこと、がんの予防について、腫瘍と腫瘍の違いなど、盛りだくさんの内容でした。普段あまり目にする事のない組織片や細胞の画像などを示しながらの説明でとても興味深かったようで、皆さん熱心に耳を傾けられていました。がんは遺伝子が傷つくことによっておこる病気で、誰もがなる可能性があり、予防する(リスクを減らす)ことはできるけれど完全には防げないそうです。しかし、遺伝要因に加え環境要因も大きいことから、禁煙や過度なアルコールの摂取を控え、バランスのとれた食事を心がけるなど、リスクを減らす努力が大事であるとのことでした。**がんとは何か？**



高血圧川柳
頭脳と血圧強、ルーチン
手相より、血圧計で、知る未来
脈博は、スマホで、なく、飲み薬
うす味も、二次代謝で、五臓
うす味も、二次代謝で、五臓
共通の、眼も、地獄
運命の、運命は、読めた
かけす、それし、ほんの、磨き
面で、見える、脈博を、読む、命の



がんと高血圧 H30年1月22日

日本人の疾患で最もポピュラーである高血圧をテーマに当院循環器科部長 芦澤直人医師に「がんと高血圧」と題してお話し頂きました。高血圧にまつわるテーマに関してそれぞれに解説を加え、参加者の方も身近なテーマに熱心に聞き入っておられました。日本の高血圧に関するガイドラインでは拡張期140、収縮期は90となっていますが、アメリカのガイドラインでは130/80と厳格になっており今後、場合によっては日本のガイドラインについても後を追う可能性を示唆されていました。また24時間の血圧測定の意味などについてもお話し頂き、睡眠時、夜間などの高血圧が特定の疾患との結びつきが深いことが分かってきており、一口に「高血圧」といっても研究が進んでいることを感じました。高血圧は長期の予後を考えて決して放置しておいていい疾患ではなく、講義でも示されていた塩分制限の工夫をして至適血圧の維持に努めて頂けると良いかと思いました。

H30年5月2日より長崎原爆病院は新病院へと移転しました。15階建てのスリムな景観で病室からのロケーションも一段と良くなりました。グランドオープンまであと2年弱。皆様にはご不便をおかけする事もあると思いますが、地域の皆様に愛される病院を目指して努力して参ります。



2020年3月
グランドオープン予定

ふれあいサロン開催につきましては、1階⑦番患者相談(がん相談支援センター)までお問い合わせください。